

地域で育てる子育てを

生涯学習振興大会

3回目を迎えた生涯学習振興大会は、記念講演として、メンタル協会スペシャリストカウンセラーの宮内一郎氏を迎え、「プロの親カレッジ」を演題に11月22日、さんぶの森文化ホールで行われました。「学ぶ喜びを感じながら時代を拓く力を培うまちづくり」をテーマにした大会には、教育関係者や一般の方々200人以上が参加。熱のこもった講演に聞き入っていました。

宮内氏は多古町在住で、自らが開発した心のゆがみ暴き根治療法で多くのメンタル障害者を復帰させています。

講演では「子育てはゼロ歳から始まります。やりたいこと、できることに到達するための子育てができるかどうかプロの親といえます。自活自立力を育てるには、転んだ後の杖になり、子どものいたずらは想像力を伸ばす。そして人脈作りの能力が人生の鍵となります。感謝し、労をねぎらう、親子の間でありがとうを言い合えることも大事です」と話されました。講演後子育て中の参加者から、「我が家の中学生の子どもの悩みが、今先生のお話で解決しました。今日から子育てをやり直します」と言う声も聴かれました。



「9回のイエスに1回のノーをキーワードに」と講師の宮内一郎氏



老人会のみなさんに囲まれて

高橋さん100歳の記念に

健康器具を区に寄贈

医師として地域医療一筋に、子どもたちや地域の皆さんの健康を守り続けて来られた、高橋武雄さん（富口）は明治41年7月27日生まれで満100歳を迎えられました。このたびご長寿の記念に、マッサージ機やバイクマシンなどの健康器具を区に寄贈されました。お医者様ならではのプレゼントに区では感謝状を贈り、合わせてご長寿にあやかろうと11月15日に老人会の皆さんと会食の機会となったものです。

戦後医院を開業し、数年前に現役は引退しましたが、「先生、しばらくですね。以前と変わらずに若いですね」とおばあちゃんたちに囲まれると、「動くのは口だけです」と、高橋さん。耳は少し遠いものの毎朝の新聞はよく読まれるとのこと。ますますお元気で！

山武の野菜が勢ぞろい

～産業まつり～

好天に恵まれた12月6日、蓮沼海浜公園展望塔広場で開催の産業まつりは、約1万人の人出で賑いました。このお祭りでは、ステージパフォーマンスの行われる中、正午から野菜共進会の表彰式が行われました。

農家の皆さんの丹精込めて生産された自慢の野菜、7品目、74点の野菜が出品。形状などの出来具合を評価、審査することで、今後の生産意欲を高めようというものです。出品された野菜は、どれも旬の採れたて、ジャガバターや焼肉のサービスとともに会場内であっという間に売り切れていました。



壇上にのぼった受賞者の皆さん



展望塔から見た会場内